

実証運行（2事業）の実証期間延長について

1. 実証期間延長を行う理由

今年度の実証運行が4か月ないし6か月と短期にとどまっております、実証運行の効果や今後の方向性を判断するに当たり、もう少し長期で利用状況等を検証していくため。

【背景等】

- ・いずれの事業も初めての取組であり、利用もそこまで増えておらず、周知が行き届いていない可能性がある。
- ⇒事業が地域に定着した状態での利用状況等を見ながら今後の方向性を検討していきたい。
- ・2事業とも、将来的に既存バス路線の代替手段とすることを想定している。
- ⇒既存バス路線の廃止を判断するには実証期間が短い。

2. 延長期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日（1年間）

3. 延長に当たっての事業内容変更案

利用者からのご意見を踏まえ、更なる利便性向上を図るため、以下の改善を検討中です。

（主なご意見）

「チョイソコの停車場所を増やしてほしい」「通院等に利用しやすくするため、チョイソコの運行時間帯を拡大してほしい」「買い物シャトルサービスに障害者や免許返納者向け割引が無いが、負担が大きいのので検討してほしい」「移動販売と曜日が離れた方が良い」等

【共通】

- ・定額乗車券発行検討

【チョイソコ南房総・館山】

- ・停車ポイントの追加（詳細は議事（3）で説明します）
- ・運行時間帯の変更（運行開始時刻の前倒し、運行終了時刻の後ろ倒し）

【豊房線エリア等買い物シャトルサービス】

- ・運転免許返納者、障害者手帳所持者向け割引制度の導入
- ・南房総市高齢者外出支援バス利用助成券の適用

⇒割引制度を「チョイソコ南房総・館山」に合わせます。

- ・運行曜日の入れ替え（火曜日コース⇄木曜日コース）

※変更後の事業計画案については、別紙1・別紙2をご覧ください。

4. 今後のスケジュール（予定）

- ・2月：チョイソコ停車場所追加
- ・4月：その他の改善策実施
- ・6月頃：本格運行（既存バス路線からの転換）実施検討・判断
- ・10月以降：（上記の検討結果により）本格運行への転換

平群線エリアにおけるオンデマンド交通の実証運行計画案

	令和5年度実証運行-案	令和4年度実証運行
運行目的	令和3年度までの実証結果を踏まえ、南房総市の三芳地区、富山地区の一部並びに館山市の館野・九重地区の一部を含めたエリアにおいて、AIオンデマンドシステムを活用したフルデマンドバスの実証を行う。運行エリアが広範囲に及び、集落も点在しているため、AIオンデマンドシステムを導入し、少ない台数（2台想定）で効率的な運行を行えるかを検証する。 検証課題：①予約制による乗合タクシー（バス）の運行 ②エリア内やお買い物、交通結節点までの移動手段の確保 ③運行時間や運賃の適正など	
運行期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで（最長）	令和4年10月17日から令和5年3月31日まで
運行の位置づけ	乗合形式による実証運行 ※道路運送法第21条許可による	
運行事業者	鏡浦自動車株式会社	
運行形態	AIシステムを活用したオンデマンド運行 ※スマートフォンアプリ、または、コールセンターのオペレーターが電話にて利用者からの配車予約を受け付け、AIが乗合タクシーを配車。利用者は運行エリア内であれば、予め指定された乗降場所にて乗降が可能とする。このほか、エリア外に目的乗降場所を設置。なお、電話受付オペレーターは、受託運行事業者が担っている。	
目的地	目的地乗降場所に「カインズ館山店」「館山病院」「那古宿バス停」を追加	目的地乗降場所として「イオンタウン館山」及び「JR館山駅」を設定
運行エリア	別紙「運行エリアの範囲」のとおり	別紙「運行エリアの範囲」のとおり
乗降場所	乗降場所に掲示物を目印とし掲出。（集会所など既に目印となる施設等には掲出なし）	
運行時間帯	午前8時30分から午後3時30分まで（ただし、午後1時から午後2時までは運行しない）電話受付は毎日8時から15時とする	午前9時から午後3時（アプリ受付は24時間受付、電話受付は毎日8時30分～14時30分）
運行日	週5日（月・火・木・金・土）※水・日・祝日は運休	
運賃	①スマートフォンでの予約の場合：エリア内-300円、エリア外目的地500円 ②電話予約の場合：エリア内-300円、エリア外目的地700円 ※小学生-半額、小学生未満-無料 ※障害者手帳保持者、運転経歴証明書所有者-1/2割引適用あり	
	定額乗車券：1か月乗り放題券（販売価格4,500円）	定額乗車券：設定なし
使用車両数	2台（ワゴン車1台・普通車1台）	
その他	①システム：㈱アイシン社にて継続	
	①システム：7.26プロポーザル審査委員会にて㈱アイシン（チヨイソコ）に決定（システム支援業務） ②千葉県補助事業「新モビリティサービス導入推進事業補助金」を活用（R4.7.28交付決定）	
	③平群線：全便運休	

豊房線エリア買い物シャトルサービス実証運行計画案 (R5.4.1延長後)

期間延長後の実証運行案	
運行目的	既存バス路線の利用が著しく減少し、維持が困難な状況になりつつある豊房線沿線エリアにおいて、各集落をこまめに巡回する「買い物シャトルサービス」を実証運行することでニーズの再把握を行い、より利用しやすい運行形態とコスト抑制の両立を模索する。なお、運行結果により、令和5年度以降、既存路線の見直しを検討する。
運行期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日（最長）
運行の位置づけ	乗合形式による実証運行
運行事業者	鏡浦自動車（予定）
運行形態・運行日	3つのコースを設定 曜日によりコースを分け、各コース週1回、定時定路線型で運行 ・【火曜日コース】白浜川下～東虹苑～長田～大戸・岡田コース ・【水曜日コース】神余～竜岡～神戸コース ・【木曜日コース】畑～千倉大貫～古茂口～山萩・作名～飯沼・南条コース ※ヤックス移動販売日との重複・近接を避けるため、火曜日コースと木曜日コースを入れ替える。
目的地	尾張屋館山本店（道路上）、おどやスパーセンター（屋上）、館山病院（市街地循環バス停留所）、あいクリニック（木曜日コースのみ）
ルート	別紙チラシのとおり
停留所数	目安となる停車ポイントを定めるほか、県道・グリーンライン以外は経路上フリー乗降とする
運行時間帯	【往路】始発地9:30発⇒市内10:20頃着 【復路】市内11:00頃発⇒終着地11:50頃着
運賃	長田、古茂口から市内寄りのエリアは片道300円、それ以外は片道500円 ※県道88号線の中山トンネル/国道410号線の切割を境に運賃額を設定 ・運転免許経歴証明書、各種障害者手帳所持者は半額 ・南房総市高齢者外出支援バス利用助成券利用可
使用車両数・車種	1台 ハイエース10人乗り
目標等	1台当たり3人程度*の利用者数を目標とする *令和3年度 神戸地区での実証実験の実績が、1台平均3.1人であったため。 【参考：令和3年度の路線バス豊房線利用状況】 ・年間輸送人員：6,828人⇒1日当たり平均約19人、1便当たり平均約2.1人の利用実績 ・補助金額は2市合計で10,119千円⇒利用者1人当たり行政負担額約1,482円（特別交付税措置は加味していない）



公共交通定額乗車券企画・造成事業について

1. 目 的

- ①運賃負担軽減や乗車時の運賃確認・両替の手間を省く等の取組により、公共交通をもっと利用しやすくするため
- ②新たな利用者層を開拓するため
- ③将来的に、地域の観光施設や商業施設等と連携し、公共交通を利用したお出かけが楽しくなる環境づくりを行うため

【背 景】

本地域では、特にバス路線で Suica 等のキャッシュレス決済が利用できず、観光客等の来訪者にとって不便である。また、地域の利用者についても、「高齢になり運賃表が見つからない」「毎回小銭を両替して支払うのが大変」といった声が出ているほか、運賃の負担が大きいことや定期券・回数券を購入する場合、営業所に出向かねばならず、高校生の利用が伸びていない状況である。

2. 実施内容案 ※詳細は別紙をご覧ください。

第 1 弾販売内容案（販売期間：年度末から令和 5 年 6 月末）

- ・地域内のバス路線が乗り放題になる 1 日乗車券
- ・選択したバス路線を 1 か月の有効期間中 4 回利用できる回数乗車券

第 2 弾（夏休み期間に向け、内容を検討する）

- ・第 1 弾で販売したチケットの見直し・ブラッシュアップ
- ・観光施設や商業施設とのタイアップ
- ・タクシーチケット（金券や観光タクシー利用券）
- ・高速バスと地域内交通のセット券

以後、改良を重ねながら内容を充実させていく。

3. 仕組み

- ・JR バス関東が既に導入しているウェルネット株式会社のシステムを利用。
- ・スマートフォンやパソコンでチケットを購入できる。（代理購入可）
※購入方法は原則クレジットカード決済
- ・利用者は、購入したチケットを降車時に乗務員に提示し、画面をスワイプして使用済にする。

4. 費用

- ・構築費用は不要。
- ・販売手数料として、販売 1 件につき 6 % の手数料が発生。（バス事業者負担）
- ・合同協議会としては、PR に係るチラシ製作等を行う予定。

1. スマホ 1 日乗車券

- ・地域内 8 路線で利用できるデジタルチケットによる共通 1 日乗車券

【対象路線】

地域内バス路線-①南房州本線、②洲の崎線、③館山市内線、④館山鴨川線、
⑤白浜千倉館山線、⑥白浜千倉線、⑦豊房線、⑧丸線

【有効期間】 購入した日より 14 日間有効（利用期限は利用当日のみ）

【販売金額】 大人 1,300 円、中高生 1,000 円、小学生 500 円⇒（事業者検討中）

※大人の金額設定：白浜-館山駅間の 1 往復分程度

【購入方法】 スマートフォンアプリ内でクレジットカードによる購入

2. スマホ回数乗車券

- ・地域内 8 路線（選択制）で利用できるデジタルチケットによる回数乗車券

【対象路線】

地域内バス路線-①南房州本線、②洲の崎線、③館山市内線、④館山鴨川線、
⑤白浜千倉館山線、⑥白浜千倉線、⑦豊房線、⑧丸線

【有効期間】 購入した日より 7 日までに利用開始とし、1 か月以内とする。

期間中に対象路線の何れかを計 4 回利用を可とする。

【販売金額】 4 回券-大人 1,952 円、中高生 1,500 円⇒（事業者検討中）

※大人の金額設定：2021 年乗降乗車時に 2 番目に利用者が多かった
区間の運賃で計算

（南房州本線・安房白浜⇄館山駅）610 円×1 乗車×4 回×0.8

【購入方法】 スマートフォンアプリ内でクレジットカードによる購入

※参考-既存運賃

富浦方面

- 館山駅～小浜（館山市内線）530円
- 館山航空隊～小浜（＃）630円
- 館山駅～枇杷倶楽部（＃）420円

三芳方面

- 館山駅～平群車庫（平群線）700円
- 館山駅～三芳病院前（＃）430円
- 館山駅～三芳分庁舎（チョイソコ南房総・館山）700円

丸山方面

- 館山駅～川谷（丸線）700円
- 館山駅～三芳病院前（＃）410円
- 館山駅～山名（＃）540円

鴨川方面

- 館山駅～亀田病院（館山鴨川線）720円
- 館山駅～和田浦WAO（＃）700円
- 館山駅～九重駅前（＃）330円

定期券-1か月160円区間

- 通勤 大人-7,200円、小人-3,600円
- 通学 大人-5,760円、小人-2,880円（日東交通資料）

白浜方面

- 館山駅～安房白浜駅（白浜千倉館山線）930円
- 館山駅～安房白浜駅（豊房線）600円
- 館山駅～安房白浜駅（南房州本線）610円

千倉方面

- 館山駅～七浦（白浜千倉館山線）780円
- 館山駅～千倉駅（＃）400円
- 白間津～安房地域医療センター（＃）680円

相の浜方面

- 館山駅～相の浜（南房州本線）490円
- 館山駅～西川名（＃）490円
- 館山駅～相の浜～安房白浜駅（乗り継ぎ）880円

1日乗車券

- 2021年 2社共通1日乗車券（シングルリ）2,000円
（JRバス関東-洲の崎線・南房州本線、日東交通-館山市内線）

※利用方法の例

チケット - 多数のカスタマイズが可能

利用先選択

改札利用先表示

乗車履歴管理

共通乗車路線の清算が可能
利用実績で配分

【購入手順の例】

- ①サイトを QR コードから読み込む
- ②会員登録又は ID からログインする
- ③チケット（種別・枚数・金額等）を選択
- ④カード決済により購入

【利用手順の例】

- ①ログイン後、購入したチケットを確認
※ID が共有できれば購入者以外も利用可
- ②利用開始をタップ又はスワイプする
- ③降車時に乗務員（運転手）に提示する

↑チケット利用時のイメージ

- ・チケットを選択⇒路線を選択⇒利用開始を選択

路線バス 白浜千倉館山線のダイヤ見直しについて

1. ダイヤ見直しの状況について

- ・ 前回の協議会で、「10月1日のダイヤ改正は白紙とし、ダイヤ見直し案が固まり次第改めて協議会で審議いただく」こととしていた。
- ・ その後、運行事業者（日東交通）とともに、利用状況や事業者の人的資源等を勘案したダイヤ見直し案を策定した。

【これまでの経緯】

- ・ 以前は、安房白浜～千倉駅間と千倉・平館車庫～館山駅間、安房白浜～亀田病院間でバスを運行していたが、平成31年3月に、効率化を図るため再編を実施し、安房白浜～千倉駅～館山駅を直通化、亀田病院行きを廃止した。合わせて、千倉駅周辺で、スーパーやドラッグストアがある海岸回りの便を新設した。
- ・ 現在、安房白浜～館山駅間5往復、千倉駅止まりの区間便が6往復運行されているが、利用者の減少が進んでいる。
- ・ 加えて、運行事業者の人手不足が深刻化しているため、持続可能な形態を目指しダイヤの見直しを検討しているところである。

2. ダイヤ見直し予定日

令和5年4月1日

3. ダイヤ見直し案のポイント

- ・ 館山駅直通便は5往復のまま、要望の多い病院からの帰り時刻に適した13時台館山駅発の便を設定。
- ・ 特に利用が少ない午後の便を中心に安房白浜～千倉駅間の区間便を削減。
- ・ 改正後安房白浜発便数：館山駅行き5本、千倉駅止まり5本。
- ・ 改正後館山駅（千倉駅）発便数：館山駅発5本、千倉駅発2本

※詳細は、別紙時刻表案をご覧ください。

白浜千倉館山線 ダイヤ改正案（停留所抜粋）

【上り】白浜⇒千倉⇒館山

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
安房白浜	6:50	7:40	8:35	9:45	11:15	12:35	13:35	14:40	15:45	16:25	17:50
千倉駅	7:16	8:06	9:01	10:11	11:41	13:01	14:01	15:06	16:11	16:51	18:16
医療センター	7:33	8:23	9:16		11:56						18:31
館山駅	7:46	8:36	9:26		12:06						18:41

現行ダイヤ

赤時刻	減便
	行先変更
	時刻変更

改正案

	上①	上②	上③	上④	上⑤	上⑥	上⑦	上⑧	上⑨	上⑩
安房白浜	6:35	7:40	8:20	9:35	11:15	12:20	13:40	14:40	16:20	17:50
千倉駅	7:01	8:06	8:46	10:01	11:41	12:46	14:06	15:06	16:46	18:16
医療センター	7:18	8:23	9:01		11:56				17:01	
館山駅	7:31	8:36	9:11		12:06				17:11	

改正ダイヤ

※1：上①便及び上③便を医療センターで館山鴨川線に乗り継ぎ鴨川方面に行けるよう設定。

※2：利用状況により⑨便を減便、上⑨便を館山駅行きに、上⑩便を千倉駅行きに設定。

【下り】館山⇒千倉⇒白浜

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
館山駅		8:20		10:55	12:15				16:40		18:18
医療センター		8:30		11:05	12:25				16:50		18:28
千倉駅	8:00	8:45	10:00	11:20	12:40	13:45	14:40	15:55	17:05	17:55	18:43
安房白浜	8:26	9:11	10:26	11:46	13:06	14:11	15:06	16:21	17:31	18:21	19:09

現行ダイヤ

※東乙浜7:25発便は省略

改正案

	下①	下②	下③	下④	下⑤	下⑥	下⑦
館山駅		8:20		10:55	12:15		16:50
医療センター		8:30		11:05	12:25		17:00
千倉駅		8:45	10:25	11:20	12:40	13:55	15:30
安房白浜		9:11	10:51	11:46	13:06	14:21	15:56

改正ダイヤ

※東乙浜7:25発便は省略

※3：下⑤便及び下⑦便を医療センターで館山鴨川線より乗り継ぎ白浜方面に帰れるよう設定。

※4：利用状況により①・⑦・⑩・⑪便を減便。